

HITACHI エンタープライズサーバ EP8000 シリーズ マシンコード来歴

Hitachi Fibre Channel Adapter Driver for N_Port ID Virtualization
AIX(R) V6.1 向け仮想ファイバチャネルアダプタドライバ

変更内容と来歴		
バージョン	重要性	内容
6.1.5.82	軽微	1. 新規追加
6.1.5.84	注意	1. AIX ロケーションコードの表示が不正となりデバイス認識に失敗する不具合を修正しました。
6.1.5.90	注意	1. 仮想ポートを rmdev 後に、cfgmgr を実行しても仮想ポートが「定義済み」のままになる可能性がある不具合を修正しました。 ■発生条件 仮想ポート(fcs?)の状態を rmdev で「定義済み」に移行。 ■影響 当該仮想ポートが使用不可となります。 回復の為に装置のリポートが必要となります。
6.1.5.98	注意	1. 以下形名の Fibre Channel アダプタを新規サポートしました。 THE-FCA-1601V , THE-FCA-1601LV , THE-FCA-1602V , THE-FCA-1602LV 2. システム時刻変更時に、タイムアウトを誤検出してしまう可能性がある問題を修正しました。 ■発生条件 システム時刻を変更 (ntp 等を含む) システム時刻を戻した場合が対象となります。 ■影響 FC アダプタと I/O 装置間で無応答障害が発生していないにもかかわらず、タイムアウトを誤検出してしまう事があります。 3. システム時刻変更時に、時刻比較処理にてカーネルクラッシュの可能性のある問題を修正しました。 ■発生条件 下記①～③の条件を全て満たした場合に発生します。 ① 「障害閾値管理機能」オプションを使用。 ② 障害閾値管理対象の障害が複数回発生。 ③ ②の障害発生の際にシステム時刻を変更 (ntp 等を含む) システム時刻を監視時間(1～60(分))以上、時刻を戻した場合が対象となります。 ■影響 システム停止(カーネルパニック)する可能性があります。 システムをリポートすることによって回復可能です。
6.1.5.102	注意	1. FC アダプタと I/O 装置間で無応答障害が発生したとき、規定されたタイムアウト監視時間で、タイムアウトを検出しないことがある問題を修正しました。 ■発生条件 下記①～③の条件を全て満たした場合に発生します。 ① バージョン「6.1.5.98」を使用している。 ② 同一 LU に複数のコマンドが同時に実行される環境 (Queue Depth 設定を 2 以上に設定している)。 ③ FC アダプタと I/O 装置間で無応答障害が発生。

		<p>■影響</p> <p>FCアダプタとI/O装置間で無応答障害が発生した場合に、タイムアウト検出に時間がかかる事があります。その結果、HDLM等のパス冗長化ソフトをご利用時に、現象が発生した側のパスが閉塞する場合があります。現象が発生したのが片パスのみの場合は、他方のパスで業務継続が可能です。</p>
6.1.5.106	軽微	<p>1. 仮想FCアダプタを構成しているAIXパーティション起動時、または当該AIXパーティション上でcfgmgr実施時に、vfchostがエラーログを出力する可能性がある問題を修正しました。</p> <p>■発生条件</p> <p>下記①～③の条件を全て満たした場合に発生する可能性があります。</p> <p>①FOSバージョンが7.3.xxx以上のFCスイッチに接続している。</p> <p>②Virtual I/O Serverに、バージョン「86.1.10.204」以降のドライバを適用している。</p> <p>③AIXパーティション起動、または当該AIXパーティション上でcfgmgr実施。</p> <p>■影響</p> <p>Virtual I/O Server上でvfchostが下記エラーログを出力しますが、当該AIXパーティションの起動、またはcfgmgr処理は正常終了しているため、業務影響はありません。</p> <p>「Virtual FC Host Adapter detected an error」</p>
6.1.5.108	注意	<p>1. 仮想FCアダプタを構成しているAIXパーティションと、Virtual I/O Server上のFCアダプタ間の通信が失敗した場合に、発行中I/Oの中断(リセット)処理に失敗する可能性がある問題を修正しました。</p> <p>■発生条件</p> <p>I/O発行中に、仮想FCアダプタを構成しているAIXパーティションと、Virtual I/O Server上のFCアダプタ間の通信が失敗する。</p> <p>■影響</p> <p>現象発生時にI/Oを発行していたプロセスまたはアプリケーションがハング状態になる可能性があります。ハング状態を回復するためには、仮想FCアダプタを構成しているAIXパーティションの再起動が必要となります。</p>
6.1.5.110	注意	<p>1. 仮想FCアダプタとI/O装置間で無応答障害を誤検知する可能性がある問題を修正しました。</p> <p>■発生条件</p> <p>I/O発行中に、仮想FCアダプタを構成しているAIXパーティションと、Virtual I/O Server上のFCアダプタ間の通信が失敗する。</p> <p>■影響</p> <p>FCアダプタとI/O装置間で無応答障害が発生していないにもかかわらず、タイムアウトを誤検出してしまいう事があります。</p> <p>2. 仮想FCアダプタを構成しているAIXパーティションと、Virtual I/O Server上のFCアダプタ間の通信が失敗した場合に、通信の復旧処理に失敗し、当該仮想ポートが閉塞する可能性がある問題を修正しました。</p> <p>■発生条件</p> <p>仮想FCアダプタを構成しているAIXパーティションと、Virtual I/O Server上のFCアダプタ間の通信が失敗する。</p> <p>■影響</p> <p>当該仮想ポートが使用不可となります。回復の為に装置のリ</p>

		ブートが必要となります。
6.1.5.112	注意	<p>1. Live Partition Mobility (LPM) 実行後、vFC ポートから Disk へのアクセスが失敗する場合がある問題を修正しました。</p> <p>■発生条件 下記①②の条件を両方満たしている場合に発生する可能性があります。</p> <p>①バージョン「6.1.5.110」のドライバを適用している。 ②Live Partition Mobility (LPM) を実施。</p> <p>■影響 Live Partition Mobility (LPM) 実行後、vFC ポートから Disk へのアクセスが失敗します。</p>
6.1.5.120	注意	<p>1. 仮想 FC アダプタと I/O 装置間で無応答障害が発生したタイミングで、LinkDown 等の別の障害が同時に発生した場合、PCI 障害を誤検知する場合がある問題を修正しました。</p> <p>■発生条件 下記①～③の条件を全て満たした場合に発生する可能性があります。</p> <p>①仮想 FC アダプタの同一ポートで 2 個以上の LU を認識している ②仮想 FC アダプタと I/O 装置間で無応答障害が発生。 ③②と同じタイミングで LinkDown 等の別の障害が発生。</p> <p>■影響 PCI 障害を誤検知する場合があります。その結果、HDLM 等のバス冗長化ソフトをご利用時に、現象が発生した側のバスが閉塞する場合があります。現象が発生したのが片バスのみの場合は、他方のバスで業務継続が可能です。</p>

株式会社 日立製作所 IT プロダクツ統括本部 2021 年 7 月

All rights reserved, Copyright© 2003, 2021, Hitachi, Ltd.